

2016年5月25日
ソフトバンク・テクノロジー株式会社

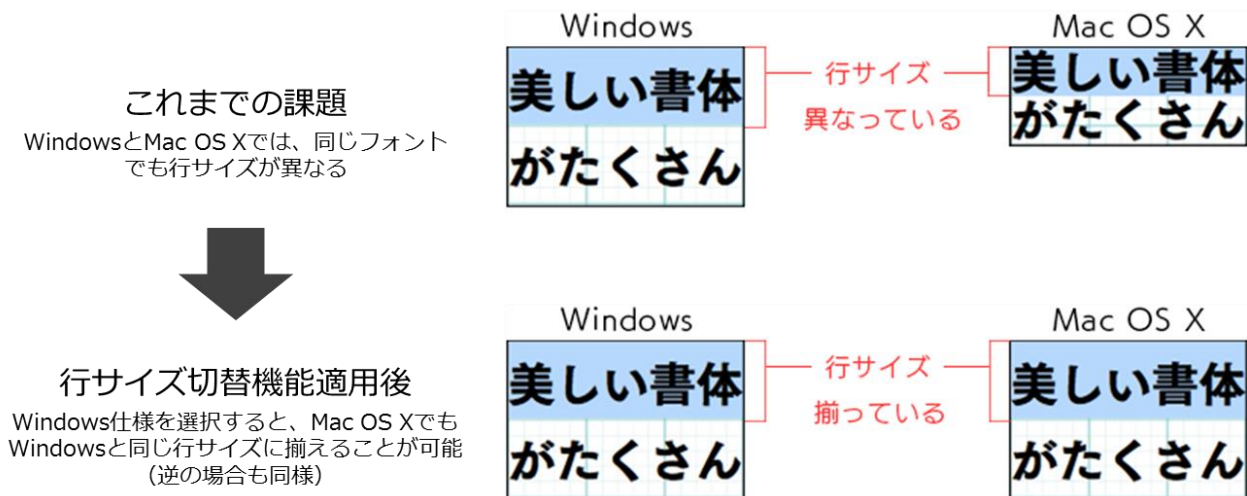
報道関係者 各位

Web フォントサービス「FONTPLUS」に新しく「行サイズ切替機能」を追加！ OSによって異なる行サイズを自動的に統一し、Web サイト制作の際の手間を軽減

POINT

- 行サイズを Windows ・ Mac OS X どちらの仕様にも統一可能
- Web サイト制作作業を効率化することで、コスト削減にも貢献
- 「表示位置ズレの自動調整機能」のオプションとして利用可能

ソフトバンク・テクノロジー株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：阿多 親市、以下 SBT）は、2016年5月25日より、Web フォントサービス「FONTPLUS（フォントプラス）」において、「表示位置ズレの自動調整機能」のオプションとして新たに「行サイズ*切替機能」を追加しましたのでお知らせします。



* 「行サイズ」とは、Web サイト上でテキストをドラッグした際にハイライト表示される領域を指します。

「行サイズ切替機能」追加の経緯

FONTPLUS は、インターネットを介して Web サイトを閲覧するユーザーにフォントを配信する、Web フォント提供サービスです。閲覧ユーザーの端末にフォントがインストールされていなくても、Web サイト制作者側が指定したフォントをブラウザで表示することができます。

Web サイトにおけるこれまでの課題として、同じフォントでも Windows と Mac OS X では行サイズが異なって表示されていました。この行サイズを揃えるためには、各 OS に対し CSS ハック*等で細かく調整を行う必要があり、Web サイトの制作において大変な手間がかかっていました。

そのため、今回「表示位置ズレの自動調整機能」のオプションとして「行サイズ切替機能」を追加し、OSによって行サイズが異なる現象を解決できるようにしました。

*CSS ハック：Web サイト作成の際に Web ブラウザ間で異なる CSS の実装状況の違いやバグなどを吸収し、極力各ブラウザでの表示を同一にするためのテクニックの一つ。(Wikipedia 参照)

「行サイズ切替機能」について

行サイズ切替機能を使うと、行サイズを Windows または Mac OS X の仕様に統一することができます。例えば、Windows 仕様に設定すると、Mac OS X 環境においても Windows 仕様の行サイズで表示できるため、OSによって行サイズが異なる現象を軽減することができます。

この機能を利用することで、Web 制作者にとっては細かく調整する手間が省けることで作業の効率化を図ることができ、Web 制作依頼者にとっては作業効率化によるコスト削減効果を見込むことができます。

行サイズ切替機能は、スマートライセンス・バリューライセンスにて提供している「表示位置ズレの自動調整機能」のオプションとしてご利用いただけます。

▼ スマートライセンス・バリューライセンスの詳細についてはこちらをご覧ください。

<http://webfont.fontplus.jp/service/explain>

▼ 行サイズ切替機能の詳細についてはこちらをご覧ください。

<http://support.fontplus.jp/line>

SBT では引き続き、FONTPLUS のサービス向上へ積極的に取り組み、Web 制作分野で有益なサービスへと発展させてまいります。

ソフトバンク・テクノロジー 概要

「情報革命で人々を幸せに ～技術の力で、未来をつくる～」という理念のもと、データを安全に利活用できるクラウドサービス提供企業として、“クラウド” “セキュリティ” “デジタルマーケティング” の3分野に注力しています。独自のクラウドサービス群の利用者は 40 万ユーザーを突破し、業界トップクラスの実績がお客様の信頼につながっています。当社は、今後もクラウドサービスをより安全に、より便利に利用できる付加価値の高いサービスを提供してまいります。

※本リリースに記載されている会社名、製品名、サービス名は、当社または各社、各団体の商標もしくは登録商標です。

報道関係者様向け お問い合わせ窓口

ソフトバンク・テクノロジー株式会社 管理本部 経営企画部 齊藤、安部、菅

TEL : 03-6892-3063

Email : sbt-pr@tech.softbank.co.jp



本ドキュメントでは、フォントワークス株式会社のフォント[UD 角ゴ ラージ Pro]を使用しています。